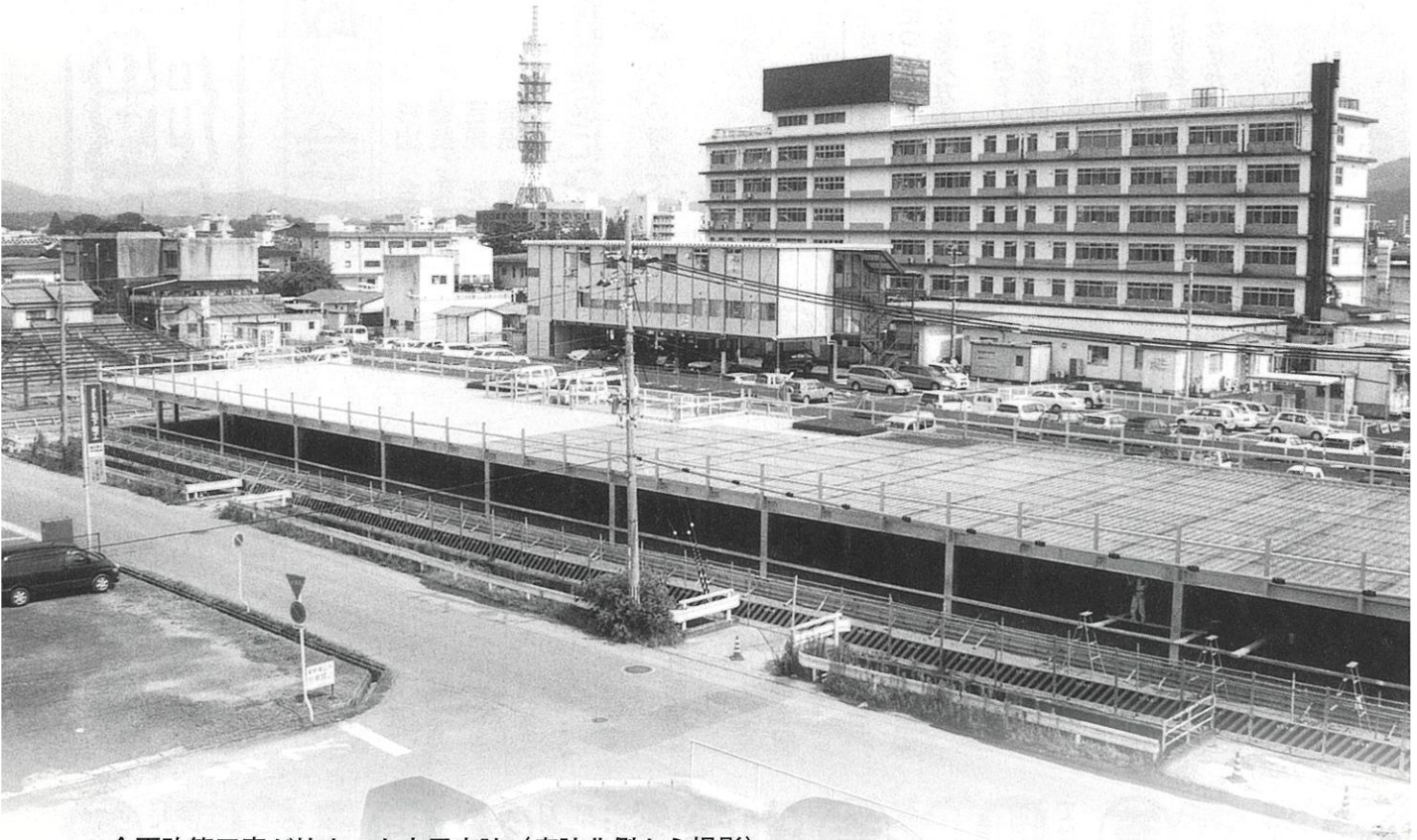




議会だより

2003
8



全面改築工事が始まった市民病院（病院北側から撮影）

6月定例市議会の概要

6月定例市議会は、6月9日から27日までの19日間にわたって開催された。

この議会には、「平成15年度一般会計補正予算」など6議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。また固定資産評価審査委員会委員の候補者1名の選任に同意するとともに、人権擁護委員の候補者1名の推薦について同意をした。さらに議員派遣についても議決した。

◆補正予算

一般会計では、乳幼児医療対象枠拡大経費1,079万7千円のほか、総額3,105万9千円を補正し、補正後の総額を258億1,105万9千円とした。

また、老人保健医療事業特別会計では、過年度分の支払基金・府支出金返還金247万3千円を追加し、補正後の総額を56億4,961万2千円とした。

◆条例

福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正のほか、2条例の一部改正を行った。

◆工事請負契約（1件）

● 公共下水道事業福知山終末処理場水処理施設曝気プロワ更新工事
1億9,215万円

◆その他

● 平成14年度予算繰越計算書について

● 損害賠償の額について

◆人事議案

● 固定資産評価審査委員

谷村 紘一さん
（下新、62歳、再任）

● 人権擁護委員
向山 仁美さん
（額塚、65歳、再任）

◆議員派遣

● 第20回日本非核宣言自治体協議会総会及び第18回非核宣言自治体全国大会

▼ 派遣場所 長崎県長崎市

▼ 派遣期間 8月8日(金)・9日(土)

▼ 派遣議員

吉見光則議員、武田義久議員、大西敏博議員、渡辺麻子議員

6月 定例会

一般質問



新 政 会

田淵 弘	杉山 金三
塩見 仁	審良 和夫
井上 重典	吉見 光則
松本 良彦	福島 慶太

法定合併協議会発足について

問 合併の方式は、いつの時点で協議されるのか。

答 1市3町の制度の違いもあり、将来のまちづくり、ビジョンの方向づけなど、一定の認識が必要。時期は、もう少し様子を見極めたい。

問 合併方式について、市長としての現時点での考え方は。

答 対等と編入があるが、人口規模から、また、多くの市民の意見から考えると、編入合併が妥当と思っている。

問 新市建設計画策定小委員会に3町のみ、各々2名の兼任委員が選任されているのはなぜか。

答 市・町が平等になるように、また、全体のバランスに配慮した。

問 アンケート調査は、1万人を対象と聞いているが、半数程度必要ではないか。

答 人数的、統計的に見て有効性もあり、十分判断できる。

府地方機関再編計画(案)について

問 京都府地方機関の再編計画案に対する見解は。

答 三位一体の理論で、地方分権の一つである。

新型肺炎(SARS)対策について

問 新型肺炎(SARS)への対応は。

答 対策会議を設け、情報収集と市民の不安解消に努めるとともに、相談窓口の開設、市民病院・消防の体制強化と対応マニュアルを作成し、防護服・消毒薬等の配備もしている。

市民病院全面改築について

問 市民病院全面改築に伴う入札と、地元業者育成の考え方は。

答 建築工事・電気設備・機械設備の3工種の分割発注とし、公募型の4社による共同企業体で、その内、2社は市内業者と義務づけている。なお、下請業者発注にあたっては地元優先をお願いしていく。

教育施設の耐震調査について

問 佐賀小学校の耐震調査結果と改修計画は。

答 老朽化し、鉄骨補強が必要なので、来年度、事業採択に向け、努力する。

「教育の場づくり」について

問 「惇明わんぱく村」のような学校・地域・家庭が連携した子育て事業への行政の支援は。

答 「わんぱく村」のような事業は、教育委員会としても敬意に値する。行政支援については、十分考えたい。

問 子どもの安全を守るため「子ども110番の家」を全市的に広報しては。

答 福知山警察署と相談して、実現に向けて努力したい。

緊急融資制度について

問 中小企業緊急特別融資制度等の申請、融資の状況と制度の拡充を。

答 各制度の相談件数は、現在まで42件で、融資額は、1億6,680万円。制度は拡充したばかりなので、今は考えていない。

西中筋西部地区総合整備事業について

問 この事業の評価は。

答 戸田地区を、全面的に整備する画期的な事業で、由良川改修・ほ場整備等の課題に配慮し、組織あげて、取組んでいきたい。

石原土地区画整理事業と主要地方道福知山綾部線について

問 土地区画整理事業の保留地の今後の処分計画は。

答 15、16年度で、公開抽選により保留地処分の促進に努めたい。

問 福知山綾部線の西中筋地内の改修計画について。

答 重要な課題であると認識しているので、府と協議しながら進めたい。



福政会

菅田 廣 和泉すゑ子
 野田 勝康 武田 義久
 菅田 弘夫 竹下 一正

福知山市環境型社会をめざして

問 「福知山市環境基本計画」の施策の特徴について

答 平成14年に環境会議を設立して、自然・暮らし・まちの3部会で検討を進めている。意見などを幅広く行政施策に反映するために計画をまとめる。

問 プラスチック製容器包装類の処理と今後のリサイクル率は。

答 プラ容器は1m角に圧縮し、1kgあたり7円の処理委託料をリサイクル協会に支払う。リサイクルプラザの稼働で、平成22年度の府目標22・2%は達成できる。

問 不燃物埋立処分場の延命と今後の取得計画は。

答 今回の分別収集及び不燃物破碎選別により埋立量が半減するが、平成17年に処分場が満杯となるため、2期処分場のかさ上げ調査や3期処分場の取得計画を進めている。

問 リサイクルプラザの啓発管理部分の運営体制はどうか。

答 修理再生室はシルバー人材センターなどの再生を行う。体験教室は、材料費をいただいで紙すき、ガラス細工などを市内在勤在住者を対象に考えている。

福知山市防災パトロールについて

問 パトロール実施箇所の被害予測と今後の改修計画は。

答 大門地区「拾上池」は老朽化が進み漏水している。下流農地や人家に被害が予想されるため、早期に改修工事を実施しなければならぬ。日尾地区は岩盤が風化し、道路への落石が予測される。溜木地区は急峻な山が集落を囲み、崩壊が予測される。いずれも大事業になるが、京都府で検討をしていただく。



大門地区「拾上池」パトロールの様子

第13回福知山マラソンについて

問 スポンサー、協賛金、予算についてはどうか。

答 株式会社ステップ、ゲンゼ株式会社との2社から協賛の申し出があり、協賛金は現在調整中である。マラソン実施の予算は8、120万円である。

新はばたきプランについて

問 平成13年3月に新プランを策定されて2か年が経過した。女性の管理職、委員会や審議会委員などへの登用の状況は。また、条例の制定や女性政策課、女性センターの設置についての進捗状況はどうか。

答 女性管理職は、4月1日現在で課長級5人、課長補佐級14人、係長級24人で、市民病院を除いた女性管理職は全体の15・7%、条例等で定める審議会では、延べ77人で全体の15・9%である。新はばたきプランの目標である30%達成に向けて啓発していきたい。条例等については研究中であり、21世紀の大きな課題であると考え。

戦没者追悼式について

問 参加者に配られる弁当は、その場で食わずに持ち帰る人が多い。食中毒の心配もあり、線香・ローソク・お饅頭など、他の品物に代えてはどうか。

答 関係者と相談し、検討したい。

防火防災の諸問題について

問 自主防災組織の結成状況と補助金等についての対応は。

答 今、市内各地域で、自ら進んで自主防災組織が結成され、既に24の地域、団体で防火防災に備える体制ができつつある。今後、市内全般に自主組織が広がり、災害等に対する準備、関心が高まることが望ましい。現在、そのような組織づくりに、初年度のみ5万円の補助金を出している。



問 消防詰所等の施設整備は十分か。

答 消防詰所の広さは、一部を除き概ね良好だが、トイレの設置が不十分なので、鋭意整備していく。

携帯電話通話不能地域の解消支援

問 今日、車と携帯電話は生活必需品となっており、社会生活の上で不可欠だ。市内には通話不能地域があるが、市として、これの解消についての支援は。

答 市としても、関係方面へ解消について要望をしていきたい。

平成会

加藤 弘道 有 幸男
立道 正規 大西 敏博

幼保一元化について

問 上川口保育園と川口幼稚園の併設ができないか。

答 国において幼保一元化が検討されている。施設、職員等の問題があるが、教育委員会と福祉部において、十分に検討し、解決策を見い出せると思う。

公共下水道牧川系統と特定環境公共下水道について

問 牧川系統の整備状況と、下天津・瘤木・一尾地区の今後の認可見込みは。

答 牧、勅使の整備率は、平成15年度末で85%の予定である。下天津・瘤木・一尾地区については、平成15年度に京都府の認可を得られれば、平成17年度から着工できる。

問 特定環境公共下水道の整備状況は。

答 平成15年度末の整備状況は、24%である。また、供用開始戸数は約140戸になる予定である。

食の安全確保について

問 飲料水の取水口における検査の結果はどうなっているか。

答 水道法の基準に基づいて、24箇所[※]の取水口で年2回実施しており、すべて安全である。

問 農薬使用者への指導は、どうなっているか。

答 農薬取締法により府が調査しているが、使用量等の把握は困難であると聞いている。本市でも、農業技術者会議で指導や情報交換を行っている。

問 京都府の農産物認証制度についての市の対応は。

答 府がマニュアルを作成中と聞いている。今後、十分検討し、参考にしたい。

ルート9ネットワーク推進協議会について

問 発足して1年経過したが、取組みと成果は。

答 国土交通省に要望しているが、予算が十分でないため、随時進めていかなければならないと聞いている。今後、要望活動を進めたい。8月に幹事会を開いて、丹波町から夜久野町の現地視察を実施する。

国道426号の部分改良とバイパス計画について

問 バイパス計画が、一時中止になったままである。通学路でもあり、生活上でも唯一の重要道路だが、見直しは。

答 府の財政状況が悪いため、進捗がない。今後は、実施可能な方法を検討していくとのことである。

農道舗装の見直しについて

問 喜多と中佐々木の早期農道舗装を要望するが、見直しは。

答 国・府ともに財政状況が悪いので、採択は難しい。

有害鳥獣の駆除について

問 有害鳥獣の駆除期間中に支払われる奨励金を、狩猟中の捕獲にも支払えないか。

答 駆除と狩猟は趣旨が異なり、狩猟は趣味で、また、収入を得る手段として行う人もいるので、駆除と同様に奨励金を出すのは適当ではない。

京都丹州木材協同組合について

問 丹州木材協同組合への行政支援を考えてもらえないか。

答 林業振興のために、行政として何ができるか検討していきたい。

日本共産党市会議員団

仲林 清貴 渡辺 麻子
足立 進

市町村合併への対応について

問 新市建設計画策定小委員会に臨む基本的な考え方は。また、住民サービス、住民負担の基本的な考え方や、合併の是非も含めたアンケートを実施する考え方は。

答 「当初の考えが変わった。」といわれているが、時代が変わってきた。三位一体で地方交付税が減らされることになるので、3町は財政的にピンチとなり、町としてやっていくことが難しい。住民サービスでは、福祉は町の方がよくやっつてらつている。しかし、財政的な問題で無理だ。住民アンケートについては、基本的な方向を聞く。合併の是非については、協議会で、と考えている。

府の地方機関再編問題について

問 地方機関の再編で、住民サービスに与える影響についてどのよう[※]に考えているのか。

答 「北の都づくり」を終始一貫して取り組みたい。そのため施策を進めていきたい。鳥獣害の対策、治山事業、融資や消費者相談窓口など、不便になる。

障害者支援費制度について

問 支援費制度がスタートしたが、不足しているサービスは。また、障害者計画の見直しはどのよう[※]に進めるのか。

答 ホームヘルプは深夜のサービスができていない。デイサービスがなく、通所施設も定員がいっぱいで今後の課題である。17年度からの計画策定に向けてアンケート調査を行い、16年度に当事者、施設、関係者で協議会を設置する。数値目標は十分に精査する。

公営住宅の募集のあり方

問

同和対策として建てられた市営住宅の募集や選考方法を、一般向け住宅と同じ方法で行うべきだが、市長の考えは。

答

同和問題が解決されたというものはなく、一気にはやれない。様子を見て段階的に考える。関係者とよく相談したい。

「ヤミ金」対策について

問

ヤミ金の被害が発生しているが、市の相談窓口での状況はどうなっているのか。また、対策を強めるべきではないか。

答

市民相談室での金銭に関わる相談が増えており、多重債務が多い。啓発を強めていきたい。

食農教育と学校給食について

問

子どもたちが地元の農産物に親しみ、農業の大切さを学習する食農教育は大切であるが、本市での取組みは。また、学校給食に地元農産物の活用を、さらに拡大する考えは。

答

総合学習や生活科、勤労教育の中で取り組んでいる。すぐに結果は出ないが、繰り返していくことが大切である。学校給食には約20%の地元産品を利用して、今後もできる限り使いたい。

子育て支援について

問

児童育成計画(エンゼルプラン)の策定に向けて、アンケートで意識調査を行ってきたが、その結果を公表する考えは。また、子育てをしている人も含んだ協議会を構成する考えや、今後のテンポはどうなるのか。

答

調査の結果は、まともれば公表したい。7月中旬に庁内で検討し、秋に協議会をスタートさせる。有識者、福祉・教育・医療関係者と行政で協議会を構成する。子育てをしている人の意見は参考にする。

問

夏休みの児童クラブの実施時間を早める考えは。また、夏休みの校庭開放は、希望する子どもを全員受入れることができるのか。

答

児童クラブは、児童館の付帯事業なので、開始時間は午前10時。校庭開放は、80名定員で惇明校で実施する。



児童クラブが実施されている下六人部児童センター

住宅改修助成事業の創設を

問

住宅改修事業は、バリアフリーや耐震対策につながり、地元業者の仕事づくりに大きな効果を発揮すると思うが、本市での実施は。

答

他自治体の例も見ながら、慎重に検討したい。

公明党議員団

小野 喜年 今次 淳一

住所表示について

問

本市の地域は、場所がわかりにくく不便である。電柱・ブロック塀などに自治会名、家屋に住所と家族名が表示できないか。

答

いいことであるが、市街地は道路などで区切りがついていないので難しい。

有害鳥獣の死体処理について

問

駆除した死体は、市の焼却場で引取ってもらえないか。

答

防護ネット、交通事故などで死亡したシカ・イノシシは、昨年12頭、焼却場で処分した。駆除隊により駆除したものは、報償金の中に処分費用も含まれている。

三段池公園城山の防災対策は

問

桜を植樹するため高木を多く伐採したが、豪雨時の排水や山火事の対策、防犯灯・緊急照明の計画はできているのか。

答

地元自治会とも協議して、今後の対応をしていきたい。火災については、防火啓発看板を考える。照明は、公園の整備計画にあわせて検討する。



防災対策が急がれる三段池公園城山

過疎地における危険通学路対策

問

山間部では人家のない山道を小学2年生児童が、1人で通学しなければならない。教育委員会が早急に対策を検討してほしい。

答

基本は保護者・地域で守り育てることであるが、行政も入って方法を考える必要がある。早急に検討したい。

市民会館の全面改修などについて

雨漏りや防音不良などの苦情が出ているが、耐震補強と合わせて全面改修の計画は。

【答】 検討していかなくてはならないが、将来の課題である。

【問】 準備作業をする人のために、貸ロッカーの設置をしては。

【答】 別の部屋を借りて対応してはどうか。現在は考えていない。

「健康日本21」運動について

【問】 「健康日本21」運動に伴う「健康増進計画」の策定は。

【答】 策定内容は広範囲に及ぶ。府の計画の動向を見ながら、今後の検討課題としたい。

色覚バリアフリー対策について

【問】 印刷技術の向上で多色化が進んでいるが、色覚障がいの人にとっては、それが逆に障がいになる。市のホームページや発刊物などは色に配慮しているのか。

【答】 反省すべき点がある。苦情は聞いているが、どういう色を使うか配慮したい。

青少年の薬物問題の現状と対策

【問】 薬物使用が低年齢化しているが、市の対応は。

【答】 青少年の非行防止に取組む強調月間に、薬物乱用防止の啓発チラシを全戸配布している。

市道前田観音寺線の改修は

【問】 市道前田観音寺線の改修の進捗状況と今後の見通しは。

【答】 進捗率は51%。今年度中に雨水排水管の布設が終る見通しだ。1年でも早く整備したい。

自民クラブ

和田 久 永田 時夫

街路事業「多保市正明寺線」の取組みについて

【問】 高畑橋は幅員も狭く、老朽化して自動車の離合も困難であり、歩道橋もなく危険な状況が続いている。各方面から早期改修を望む声が強くなっていくが。

【答】 高畑橋は都市計画道路多保市正明寺線の中にあり、今後は、府などの関係機関と調整をはかり、改修に向けて都市計画道路の計画変更手続を進めていきたい。

【問】 児童の通学路でもあり、教育委員会としての交通安全対策は。

【答】 毎年、桃映中学校や大正小学校PTAなどから、歩道橋設置の要望があり、府や交通対策協議会に、毎回強く要望している。

下六人部地区整備計画について

【問】 国道9号で、岩崎から六人部中学校間の下り部分の歩道拡幅整備と、市の取組み状況は。

【答】 国土交通省が昨年度に測量を実施し、整備の方向が見えてきた。市としても、今後、働きかけていきたい。地域の協力がなければ進められないので、地域の合意形成に向けて努力している。



早急な歩道整備が望まれる国道9号下り線(多保市地内)

職員の管理体制について

【問】 職階制の対応と、職員を育てていくという考えは。

【答】 部課長会議で、企画力、実行力のある職員を育てるよう指導している。

【問】 厳しい雇用状況の中、市の特定職員だけが優遇されている。天下りについて、市民から切れ目のない待遇と非難の声があるが、市長の見解は。

【答】 今後、天下りと言われないように配慮していく。

無党派

荒川 浩司

公共施設前のバス停に屋根やイスの設置を

【問】 市役所向い側のバス停留所には屋根があるが、市役所側にはない。多くの市民が公共的に利用するところでもあり、屋根やイスの設置は。

【答】 市は、これまではから屋根やイスの設置は行っていない。歩道のバリアフリー化もあるので難しい。歩道に接して市有地はあるが、それぞれに役割がある。



屋根・イスの設置要望が多い市役所前バス停留所

6月定例会常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

当委員会に付託された一般会計補正予算など3議案について審査を行った。

一般会計では、住民基本台帳ネットワークシステム2次稼働に伴い、1枚あたり500円でカードを発行するもので、2千枚分の補正を行うものである。委員からカードの規格、業者への発注、申請手続、個人情報報告等々について質疑があった。

ICチップ付きのカードは、全国統一仕様であり、入札を行う。窓口申請となるが、写真付きのカードも選べる。委員から、ネットワーク自体、個人情報を守られるか心配であるという意見があった。

また、不妊治療費助成としては、一人あたり3万円で40人分の補正をするものであり、補助対象者についての質疑では、治療を受けている男女で、年齢は問わないとの答弁であった。

さらに、乳幼児医療費助成については、本年9月診療分から6歳の就学前まで制度が拡充されることに伴う補正であり、府の制度を有効活用して少子化対策と子育てを支援したいという説明であった。

以上で審査を終わり、採決の結果、議第7号及び議第10号は賛成多数、議第8号は全員賛成で、いずれも原案のとおり可決した。

総務委員会

当委員会に付託された議第7号「平成15年度一般会計補正予算」並びに議第9号「福知山市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に關する条例の一部を改正する条例の制定について」の2議案を慎重に審査した。

船外機付きアルミ製ボート購入事業の補正は、水防用の木舟の老朽化に伴い、船外機付きアルミ製ボートを配備し、水防活動時の機動力の強化をはかるものであり、コミュニティ助成事業の採択を受けて補正するものである。

コミュニティ助成事業は、一般

コミュニティ、緑化事業、自主防災、青少年健全育成などの地域主体の事業が対象であり、財源はジャンボ宝くじなどの収益配分による助成金で、補助率は10割であるとの説明を受けた。

議第9号は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に關する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、本市の消防団員の退職報奨金の支給額を引き上げるものである。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された議第7号「平成15年度福知山市一般会計補正予算」について慎重に審査を行った。

補正の内容は、建設部で所管する都市計画公園(市内72箇所)の施設の保守点検事業費217万5千円。

さらに、前田新町の持徳公園に東屋1棟を設置する事業費250万円及び教育委員会関係の三岳青少年山の家自然環境整備に伴う三岳山山道約1.5kmと、頂上周辺の整備に係る事業費400万円である。これらは、緊急地域雇用創出特別基金事業やコミュニティ助成(宝くじ助

成)事業の採択を受けて実施するものである。

また、公園内の事故防止をはかるために徹底した遊具等施設の点検を行い、三岳山山道及び頂上周辺の整備に關しても、散策に來られる方への適切な安全対策を講じるとともに、案内看板や休憩施設の設置と併せ、自然環境を損なうことなく、その保全に十分配慮して実施してほしいとの意見、要望があった。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決した。

経済委員会

当委員会に付託された議第7号「平成15年度福知山市一般会計補正予算」などの3議案について審査を行った。

まず経済部所管分の質疑では、緊急地域雇用創出特別基金事業の内容に關して、また、農村環境計画作成業務の委託に關する質疑があり、計画策定や計画案に關しては、自治会長、農区長をはじめ、住民への説明は市が行うが、調査は、知識的にも量的にも職員が行うことは困難であり、環境コンサルタント等の業者委託になる。その場合、環境と野生動物との共存を十分に考慮しながら進めていく必要があるとの答弁があった。さらに、委員から、農

村計画審議会の指針に關わる基礎データとなる調査であるので、その点を明確にしておく必要がある。また、環境面だけを考えていくと摩擦が生じてくるので、その点も十分に關係団体の意見を聴取するとともに、折衝を重ねながら進めるべきだとの意見があった。

続いて、「福知山市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定」及び「工事請負契約の締結に關して」を審査し、各々、具体的な説明と答弁があった。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決した。

《特別委員会活動状況報告》

由良川改修促進

昭和28年の大水害に代表される、たび重なる由良川の氾濫と水害に悩まされ続けてきた本市として、由良川の早期完全治水に向け、議会でも検討を行うために、昭和44年9月25日に特別委員会を設置し、積極的に調査研究、改修促進要望活動を展開してきた。

今年度は、6月5日に第1回の由良川改修促進特別委員会を招集し、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所から平成15年度の管轄事業の概要説明を受け、その内容についての質疑と確認を行った。

今年度の事業概要は、西中筋・雀部・私市地域における築堤の促進で、特に、西中筋地域における築堤に関わる河川改修と一体となったまちづくりの強力な推進、安井・筈巻地域の築堤の推進が中心である。

これらの計画について、詳しい説明を受けるとともに、平成16年度以降の事業計画と内容についても説明を聞いたが、由良川沿川関係市町との調整をはかりながら進めていくとのことであった。

以上のような経過を踏まえ、8月6日に京都府、国土交通省近畿地方整備局に対して改修予算の増額、築堤促進のための強力な要望活動を実施する予定である。

市町村合併

市町村合併の問題については、市議会においても、昨年から調査研究委員会、その後、特別委員会を設置し、積極的に調査研究を進めてきた。

本年4月の統一地方選挙後の第19期の議員により開催された5月臨時市議会（初議会）において、新たに「市町村合併特別委員会」が設置され、6月27日と30日の2日間にわたり特別委員会を開催した。

この市町村合併問題は、今までの各自治体の歴史・文化や生活などを根本から変える、今後の市制の基本となる大変重要な問題であり、時間を十分にかけ、積極的に意見を出し合い、議論していくことを確認したあと協議に入った。

今回の協議内容は、6月4日に「福知山市・三和町・夜久野町・大江町第1回合併協議会」が開催されたので、それに関する事項を中心に協議を進めた。

今後は1市3町合併協議会の進捗状況を勘案しながら随時開催し、各内容について十分検討していくこととした。

また、一定の概要が整ってくれば、類似団体の合併状況や経過について、視察による研究も行っていく予定である。

議会日誌 6月～7月

30日	27日	20日	19日	18日	17日	9日	6日	5日	3日	2日
市町村合併特別委員会	総務委員協議会、市民厚生委員協議会、全議員協議会、議会運営委員会、議会だより編集委員会、市町村合併特別委員会、市民厚生委員協議会（市民病院視察）	各常任委員会 本会議（委員長報告、採決、	本会議（一般質問）、各派幹事会、市民厚生委員協議会	本会議（一般質問）、議会運営委員会	本会議（議案質疑、一般質問）	市議会6月定例会開会（提案理由の説明）、各派幹事会、議会だより編集委員会	3市1町由良川沿川市町改修促進委員会正副委員長会議、総務委員協議会（リサイクルプラザ視察）	由良川改修促進特別委員会	北部4市議会連絡協議会（福知山市）	議会運営委員会
29日	28日	22日	17日	15日	11日	10日	9日	3日		
職員研修会（共済（福原市）	全国市議会議長会（舞鶴市） 議会近畿部会総会（福原市）	全国市議会議長会基地協議会第59回理事会（東京）	全国市議会議長会基地協議会第59回理事会（東京）	北海道帯広市議会行政視察来市、群馬県藤岡市議会行政視察来市、議会だより編集委員会	北海道帯広市議会行政視察来市、広域行政圏市議会協議会正副会長・監事・相談役会議（東京）	岩手県北上市議会行政視察来市、議会だより編集委員会	市事務局長会議（東京）	千葉県山田町議会行政視察来市、広域行政圏市議会協議会正副会長・監事・相談役		



編集後記

6月9日から、統一地方選挙後、初の定例会市議会が開催され、一般質問に新任議員2人を含めた15人の議員が登壇しました。

現在、大きな関心事である合併や環境、教育、福祉、医療はもとより、農林業施策、道路・地域整備、中心市街地活性化などに至る様々な項目にわたり質疑がなされました。これも、市民の皆さんから負託を受けた議員一人ひとりが、市民の立場から市民生活の向上と市民の声を市政に反映すべく努力する本来の姿であると見ていただければ幸いです。

1市3町の第1回の合併協議会も開かれ、いよいよ合併に向けた議論が始まりました。市議会の合併特別委員会での協議内容についても限られた紙面の中で、市民の皆さんに分かりやすくお知らせしていきたいと思っております。編集委員会一同、よりよい議会だよりの編集に努めてまいりますので、ご支援、ご教示いただきませうようお願いいたします。



訂正・お詫び

議会だよりNo.47号3ページ中段の「各種委員会・協議会の所属一覧」において、都市計画審議会委員の「吉見光彦」とありましたが「吉見光則」の誤りでありましたので訂正し、お詫びします。